



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会
立川市取組報告書



令和4（2022）年2月
立川市

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

立川市取組報告書の発刊にあたって

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウィルス感染症の世界的な流行を受け、大会の 1 年延期、原則無観客での開催など、過去に例のないものとなりました。感染症の状況が見通せない中、大変厳しい環境下での開催でしたが、困難な状況にも負けずに目標に向かって挑戦し続けるアスリートの姿は、多くの感動を生み、人々を勇気づけてくれました。



東京 1964 大会以来、実に 57 年ぶりの東京での開催となった本大会は、オリンピックには過去最多と並ぶ、パラリンピックにはリオ 2016 大会を上回る国・地域と難民選手団が参加し、感染症によって分断された世界をスポーツの力で一つにした大会となりました。また、選手のパフォーマンスも高く、日本はオリンピックで過去最多の 58 個、パラリンピックで史上 2 番目に多い 51 個のメダルを獲得するなど、輝かしい成績を残して大会を終えることができました。

本市では、開催都市東京の一員として、この大会が市民の皆様、特に子どもたちの心に残るように、また、ご協力をいただく方々との連携をより深めることができますように、平成 29（2017）年 12 月に策定した「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた立川市の取組方針」に基づき、様々な取り組みを進めてまいりました。感染症の影響により、多くの事業が変更や中止を余儀なくされましたが、聖火リレーにおける点火セレモニーや採火式の実施、映像やオンラインを活用した市にゆかりのある選手の応援、近代 3 種立川大会の開催等を通じ、賑わいの創出につなげました。

本報告書は、本大会を迎えるまでの様々な準備活動や開催期間中の取り組みを記録するとともに、その成果やレガシーを後世に残すために刊行するもので、多くの皆様にご高覧いただければ幸甚に存じます。

結びに、大会の開催にあたりご支援、ご協力並びにご尽力を賜りました市民の皆様、医療従事者の皆様、関係者・関係団体の皆様に深く感謝申し上げ、御礼の言葉といたします。

令和 4（2022）年 2 月

立川市長 清水 庄平



目 次

第1章 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の概要

1 東京 2020 オリンピック.....	4
2 東京 2020 パラリンピック.....	4
3 東京 2020 大会のエンブレム等.....	5
(1) 東京 2020 エンブレム.....	5
(2) 東京 2020 マスコット.....	5

第2章 東京 2020 大会における立川市の取り組み

◆東京 2020 大会における立川市の取り組み 活動年表.....	8
1 立川市にゆかりのある選手の応援.....	10
2 気運を醸成するイベントの開催.....	24
3 展示の実施.....	35
4 東京 2020 エンブレムや東京 2020 マスコットの活用.....	36
5 東京 2020 参画プログラムの活用.....	40
6 事前キャンプ.....	41
7 競技会場の誘致.....	50
8 聖火リレー.....	51
9 記録の保存.....	60
10 人材育成.....	60
11 スポーツ（障害者スポーツ）の推進.....	61
12 スポーツ環境の整備.....	69
13 来街者に向けた情報発信力の強化.....	70
14 来街者を受け入れる環境の充実.....	71
15 「おもてなし力」向上の取り組み.....	72
16 オリンピック・パラリンピック教育の推進.....	74
17 文化プログラムの推進.....	76

第3章 立川市における東京 2020 大会のレガシー

1 レガシーの創出に向けて.....	80
2 立川市における東京 2020 大会のレガシー.....	81
編集後記.....	87

資料編

◆近代 3 種大会・レーザーラン大会参加人数.....	90
◆展示.....	92
◆東京 2020 参画プログラム【公認プログラム】.....	94
◆広報たちかわ掲載.....	95
◆ツイッター発信.....	99
◆アーカイブ資料.....	103
◆東京 2020 大会で使用された物品の後利用について.....	106